

## ISO/TC61(プラスチック)/SC12 (熱硬化性材料)、分野の最近の動向

### 1. ISO/TC61/SC12 の構成

ISO/TC61/SC12 は、熱硬化性材料関係の規格の制定・改正等を担当する。現在、86 の規格を有する。

幹事国は、日本で、日本プラスチック工業連盟が国際幹事を 2004 年より受諾している。議長は、日本 (2016 年より山崎聡氏 (三井化学株式会社)) が受諾している。2017 年のメンバーは、P メンバー (投票権有) が、17 カ国、また O メンバー (オブザーバ) は、11 カ国であった。

表 1 のように三つの WG (作業グループ) が活動している。

WG のコピナは、WG2 は正岡和隆氏、WG5 はエポキシ樹脂技術協会の事務局長、高橋泰氏、WG6 は Dr.Thomas. Conti (ANSI ; USA) が務めている。

表 1 TC61/SC12 の WG

WG	コピナ	タイトル
WG 2	日本	フェノール樹脂
WG 5	日本	エポキシ樹脂、不飽和ポリエステル樹脂
WG 6	USA	ウレタン原料

第 66 回 ISO/TC61 年次国際会議は、9 月 18 日から韓国の大田(Daejeon)で開催され、同会議で審議された国際規格の制定・改正状況を WG (作業グループ) 別に、記述する (規格の名称は簡略して示す。)

### 3. ISO/TC61/SC12 の審議事項

#### (1) WG2(フェノール樹脂)

コピナ：正岡和隆氏

a) 2017 年 Systematic Review は、旧 WG1 分 2 規格と併せて、全 6 規格が見直し投票され、確認された。

b) フェノール樹脂について、インドからの新規プロジェクトの提案が 2 件は、引き続いて進捗報告をした。

#### (2) WG5(エポキシ樹脂、不飽和ポリエステル樹脂)

コピナ：高橋泰氏

a) 日本提案の ISO 20368 「FT-IR によるエポキシ樹脂の架橋度の測定方法」は、DIS 投票の結果、IS 発行に進んだことを報告した。

b) 2016 年度 Systematic Review で 5 規格が見直し投票され、確認された。

c) ISO 14322 については、日本から改正を国際会議で提案した。

#### (3) WG6 (ポリウレタン原料) 代理コピナ：栢

##### a) ISO 15064(トルエンジイソシアネート異性体率測定)

DIS 投票の結果、IS 発行に進んだことを報告した。

- b)** 日本から提案の、ISO/NP21257「ポリマーホリオール中のアクリルトリモノマー及びスチレンモノマー残留量の測定方法」について NP 投票を実施した。
- c)** ISO 14900 並びに ISO 26603 については、Editorial 修正の FDIS 投票を実施し、IS 発行を報告した。
- d)** 2017 年 Systematic Review で 2 規格については、見直し投票され、確認となった。

(以上)